

6月13日(金)

食育講座

「簡単にできる離乳食」

〜離乳食の悩みを解消!〜

■田鶴浜子育て支援センター

身近にある食材で簡単に作れる離乳食を紹介。これまでも月に1回開かれており、講師は子育て支援課の山田沙織栄養士が務めている。

作り方を教わるだけでなく、離乳食についての情報交換も行われた。参加した母親は「料理を教わって、実際に食べてみるという機会はあまりないので、とても参考になった」と話していた。アレルギーに関する事など離乳食についての悩みも解消され、有意義な時間を過ごしたようだ。



6月14日(土)

第2回七尾学講座

〜江戸時代を知る「殿様道」〜

■中島町奥吉田

中島町奥吉田と中島町笠師の間を結ぶ殿様道を20人の参加者が歩き、七尾の歴史について学んだ。講師は、七尾市文化財保護審議員の南龍保(みなみりゅうほ)さん。殿様道は、第12代加賀藩主前田斉泰が海防視察の際に歩いたとされる。

雨上がりの静寂とした雰囲気の中、参加者は昔が生える石畳の道から歴史に思いを馳せていた。「趣があり歴史を感じられる場所、そんな七尾に暮らしているというのは幸せなことですね」と参加者は話し、江戸時代と今の七尾を照らし合わせ感慨深い様子だった。



6月18日(水)

田んぼの生きもの

みーつけた!

〜多種多様な生きものへの理解を深める〜

■藤橋町・飯川町

小丸山小学校6年生の児童が田んぼ周辺に生息するいろいろな生きものを調査し、理解を深めることを目的に実施された。

児童たちは網を使ったり、手で泥をすくったりしながら、生きものを探し、「ザリガニ見つけたー」、「貝いっぱいある」と目を輝かせていた。児童たちにとって、いろいろな生きものが生息する身近な自然の素晴らしさを考える、良い機会になっただろう。



6月20日(金)

古代米アートの田植え

〜今年の題材は?〜

■藤橋町

色の異なる稲穂によって描かれる古代米アート。今年も、本宮保育園の園児が山田重隆(しげたか)さんと藤橋町早乙女会に教わりながら、事前に設計図通りに田んぼに引かれた線上に苗を植えていった。

どんな絵が描かれるかはまだ秘密。苗が成長する8月中旬には全貌が明らかになる。園児は「田んぼがぬるぬるして、転びそうだったけど楽しかった。どんな絵ができるか楽しみ」と笑顔を見せた。



6月24日(火)

梅の実でシロップ作り

〜いっぱい採れました!〜

■花園町

有磯小学校の1年生から3年生が、ふるさと学習の一環で花園町にある梅林で梅を採取し、学校に帰ってからシロップ作りを行った。地元にある自然を体感し、ふるさとへの親しみを持つことがねらいだ。

木漏れ日とほのかな梅の香りの中、児童たちは一生懸命に背伸びをしたり、ジャンプをしたりして一つでも多くの梅を採ろうとしていた。児童たちは「いっぱい採れてうれしかったです。ありがとうございました。おいしい梅シロップを作りたいです」と笑顔で話した。



6月28日(土)

第10回障害者

フライングディスク大会

〜スポーツを通し交友を深める〜

■中島体育館

障害のある人の健康増進とふれあいを通じて、自立と社会参加を促進することを目的に開催。75人が参加した。フライングディスクは5m程離れた輪を狙って円盤を投げる競技で、ほかにもペタンク、輪投げ競技が行われた。

参加者は「緊張してうまく投げることができなかつたけれど、楽しかったです」と笑顔で話した。うまく投げられたときには喜び、うまく投げられなかったときは悔しがり、参加者みんなで交友を深めていた。



6月26日(木)

防犯教室

〜不審者に会わないための

予防の大切さ〜

■七尾東部中学校

七尾警察署生活安全課の桶谷昌紀さんを講師に招き、不審者対策の講義と簡単に出来る護身術の実演が行われた。

桶谷さんは「不審者に会った時の対応も大切だが、不審者に会わないために、夜道を一人で歩かないことなど、予防することが一番重要です」と呼び掛けた。生徒は「夜道は一人で歩かず、下校は複数人で帰るようにします」と話し、防犯への意識を高めていた。



6月29日(日)

わくわく親子ひろば

〜スポーツを通し交友を深める〜

■七尾サンライフプラザ

親子でふれあい、楽しく遊ぶ場を提供することにより、地域の子育て支援を図ることを目的に開催され、今年で11回目を迎えた。当日は700組の親子連れで大賑わいだった。

大吞保育園園児による「海の子ソーラン」のこじま保育園園児による「あいうえおんがく」の遊戯で幕が開いた。保育士による手作りブースでは、輪投げやボーリングなどで遊ぶことができ、ゲームに挑戦する親子は常に笑顔が絶えず、楽しいひとときを過ごしていた。

